



藻岩山・円山のほ乳類と水生生物 ～調査報告書ができました～

札幌市博物館活動センターでは、2005年度から2008年度にかけて藻岩山と円山にどのようなほ乳類や魚類、ザリガニ、両生類が生息しているのか調査を行い、結果を「藻岩山・円山における動物生息状況調査報告書～哺乳類・水生生物編～」という1冊の報告書にまとめました。

今回の調査ではエゾシカが木の皮を食べた痕が見つかった地点や時期も調査しました。その結果から05年～06年、06年～07年の冬季に藻岩山の南側斜面で数頭が集まって越冬していたことが確実になりました。しかし、毎年同じ地域で越冬しているのではなく、07年～08年冬季はエゾシカの痕跡は見つけれませんでした。北海道環境科学研究センターの専門家のお話も聞いたところ、越冬場所の移動は、大雪が降る時期が年によって異なることが主な原因とのことでした。近年、エゾシカが市内の住宅地に出没してニュースになることもあります。エゾシカの行動範囲と人間の生活エリアが接している

証拠ともいえるでしょう。

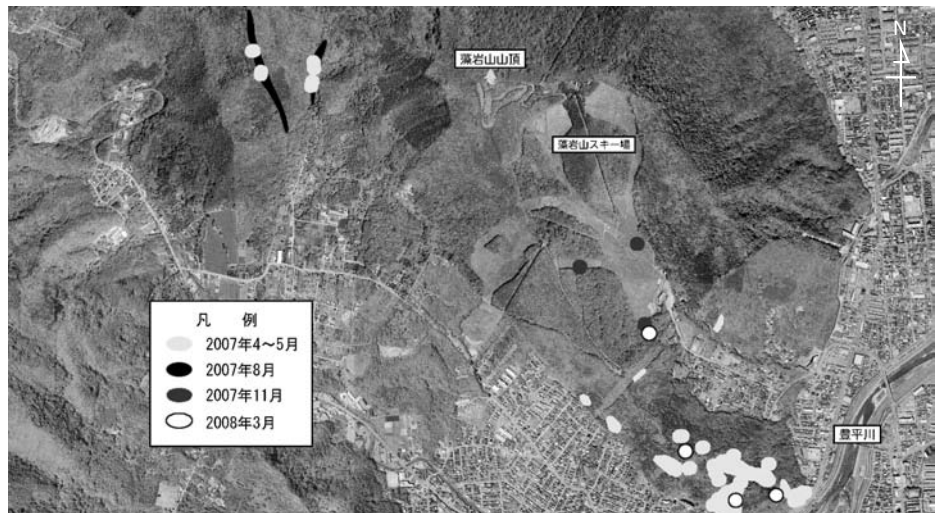
ヒグマについては、これまでの記録を遡って調べた結果、藻岩山山麓（盤渓）で06年、08年に足跡やフンが確認されています。私達は“裏山”にヒグマがいる大自然の中で生活しているのです！

裏を返せば、ビルやマンション、舗装でおおわれた“野生”とは縁がないと思われる場所にも野生生物が出てきてもおかしくはないということです。人間はエサをおいて動物をじっくり観察したい気持ちにもなります。野生動物も簡単に手に入るエサの誘惑には勝てません。しかし、それは人間と野生動物の間で起こる事件や交通事故の危険を高めることにもなります。野生動物を観察するのも、野生動物の習性や1年間の生活サイクルを知ることが大事だということを、報告書の編集作業を通して感じました。

(山崎)



エゾシカが木の皮をかじりつけた痕。



藻岩山南部におけるエゾシカの季節別確認地点

新・展示解説員 自己紹介

4月から展示解説員になりました古田未央です。わかりやすく興味をもってもらえる解説ができるように、札幌のこと、展示物のことなど毎日勉強中です。

趣味は読書と旅行で、最近では食品の和名調べを始めました。アボカドは鱈梨（ワニナシ）、アーモンドは扁桃（ヘントウ）など、思いもしないものが多く楽しいです。あとハングルを少し勉強中です。

いろいろなことに興味を持っていきたいので気軽に声をかけてください。こんな私ですが、よろしくお願いします。



福岡 「博多町家」ふるさと館

小中学生が授業で来館～職業体験、修学・研修旅行

伏見中学校1年生が6月10～11日に職業体験に来ました。植物の簡単な調査や化石クリーニングとレプリカ製作をしました。(右)



その他にも5月末～6月は遠くは道南の七飯町などから修学旅行、研修旅行での見学がありました。(左) 質問を用意してくることもあり、中でもおもしろい（答えるのに困った）質問は「一番速い昆虫はなんですか？」でした…。